

試験鑑定証明書

DTK14- 01580

依頼者 株式会社アルサ 殿 2014年3月20日

品番(品名) 下記参照

一般財団法人

数量 2 点

ニッセンケン品質評価センター

東京事業所



2014年3月10日に提出された試料について試験の結果、下記の通りであることを証明します。

- 試験試料 (1) ベチベルミスト・シトラス
(2) ベチベルミスト・イノセントグリーン
- I. 試験項目 抗菌性試験
- II. 試験方法
- ① 高圧蒸気滅菌により清浄化した綿標準布(50mm角)を滅菌済みシャーレに準備する。
 - ② 1/20ニュートリエントブロスで下記菌濃度に調整した試験菌液を0.2mL均一に接種する。
 - ③ 試料を約15cmの距離から3回噴霧する。
 - ④ 所定時間培養後、SCDLP培地を10mL加え、十分に洗い出す。
 - ⑤ 生理食塩水で段階希釈を行い、混釈平板培養法により生菌数を算出する。
- ※参考情報: JIS L1902:2008、JIS Z2801:2010

III. 試験菌 1. モラクセラ菌 : *Moraxella osloensis* ATCC19976

IV. 試験結果

<試験菌液>

試験菌	1.
菌液濃度 (個/mL)	2.9×10^5

<試験試料>

試験菌	検体	生菌数(個/生地)			抗菌活性値 (18時間培養後)	
		開始時	1時間後	18時間後		
1	蒸留水	4.8×10^4 (A0)	4.3×10^4	2.0×10^7 (A18)	/	
	(1)	6.5×10^4 (B0)	1.0×10^4	<10 (B18)		>6.43
	(2)	5.0×10^4 (B0)	2.4×10^4	3.6×10^2 (B18)		4.76
	※70%エタノール溶液	6.8×10^4 (B0)	1.1×10^4	<10 (B18)		>6.45

○ 標準試験試料として蒸留水を用いて試験を行った。

○ 活性値の算出は、 $[\log(A18) - \log(A0)] - [\log(B18) - \log(B0)]$ で行った。

※ 参考値として70%エタノール溶液で試験を行った。

試 料

(1) $\geq EC$ $\geq NQEC$ $\geq NQEC$ $\geq NQEC$ $\geq NQEC$
(2)

試験は提出試料による



試験鑑定証明書

DTK14- 01978

依頼者 株式会社アルサ 殿 2014年4月21日

品番(品名) 下記参照

一般財団法人

数量 5点

ニッセンケン品質評価センター



東京事業所

2014年4月4日に提出された試料について試験の結果、下記の通りであることを証明します。

- 試験試料
- | | |
|-------------------|------------------|
| (1) ベチベルミスト・PRO | (2) ベチベルミスト・ミント |
| (3) ベチベルミスト・ラベンダー | (4) ベチベルミスト・ウッディ |
| (5) ベチベルミスト・フローラル | |

I. 試験項目 抗菌性試験

- II. 試験方法
- ① 高圧蒸気滅菌により清浄化した綿標準布(50mm角)を滅菌済みシャーレに準備する。
 - ② 1/20ニュートリエントブロスで下記菌濃度に調整した試験菌液を0.2mL均一に接種する。
 - ③ 試料を約15cmの距離から3回噴霧する。
 - ④ 所定時間培養後、SCDLP培地を10mL加え、十分に洗い出す。
 - ⑤ 生理食塩水で段階希釈を行い、混釈平板培養法により生菌数を算出する。
- ※参考情報: JIS L1902:2008、JIS Z2801:2010

III. 試験菌 1. モラクセラ菌: *Moraxella osloensis* ATCC19976

IV. 試験結果

<試験菌液>

試験菌	1.
菌液濃度 (個/mL)	2.1×10^5

<試験試料>

試験菌	検体	生菌数(個/生地)			抗菌活性値 (18時間培養後)	
		開始時	1時間後	18時間後		
1	蒸留水	3.5×10^4 (A0)	4.6×10^4	3.0×10^7 (A18)	/	
	(1)	4.6×10^4 (B0)	4.5×10^4	8.9×10^4 (B18)		2.65
	(2)	3.6×10^4 (B0)	3.7×10^4	9.1×10^4 (B18)		2.53
	(3)	3.8×10^4 (B0)	3.6×10^4	<10 (B18)		>6.50
	(4)	3.8×10^4 (B0)	3.7×10^4	3.4×10^4 (B18)		2.97
	(5)	3.6×10^4 (B0)	3.8×10^4	3.0×10^3 (B18)		4.01
	※70%エタノール溶液	3.2×10^4 (B0)	2.7×10^4	<10 (B18)		>6.43

○ 標準試験試料として蒸留水を用いて試験を行った。

○ 活性値の算出は、 $[\log(A18) - \log(A0)] - [\log(B18) - \log(B0)]$ で行った。

※ 参考値として70%エタノール溶液で試験を行った。

試 料

(1) (2) (3) (4) (5)

NC NQEC NQEC NQEC NQEC NQEC NC

試験は提出試料による

